

## 第1回江別市学校教育基本計画策定懇話会 議事録(要点筆記)

1 日 時 令和5年5月31日(水)午後3時00分から午後4時35分まで

2 場 所 教育庁舎 大会議室

3 出席者 会 長 横山 光

副会長 石橋 浩明

委 員 赤川 和子

委 員 荒瀬 博士

委 員 佐藤 寿昭

委 員 橋本 一

委 員 樋口 裕晃

4 事務局 教育長 黒川 淳司

学校教育支援室長 中島 桂一

学校教育課長 川口 直也

学校教育課参事(教育情報化担当) 浅木 義博

教育支援課長 清水 さおり

学校教育係長 中山 雄太

5 傍聴者 1名

	内 容
事務局 (中島室長)	<p>ただいまから、第1回江別市学校教育基本計画策定懇話会を開催いたします。</p> <p>はじめに、教育長からご挨拶申し上げます</p>
黒川教育長	<p>【挨拶】</p>
事務局 (中島室長)	<p>次に、6 会長及び副会長の選出に入りますが、会長が決定するまでの間、事務局が司会進行を務めさせていただきますが、ご了承いただけますでしょうか。</p> <p>【承認】</p>
事務局 (中島室長)	<p>それでは、6 会長及び副会長の選出について、「江別市学校教育基本計画策定懇話会設置要綱」第5条の規定により、会長及び副会長は委員の互選により決定することとなっております。</p> <p>会長・副会長の選出について委員の皆様から、ご推薦やご意見がある方は挙手をお願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>事務局案があれば、提案していただいてはどうでしょうか。</p> <p>【異議なし】</p>
事務局 (中島室長)	<p>それでは、事務局案を提案させていただきます。</p> <p>会長には、北翔大学 教育文化学部 教育学科の教授であり、学科長でもある、学校教育に対する知識・見識の豊かな学識経験者の横山委員を、副会長には、現職の校長先生として学校現場を熟知されており、江別市校長会の会長を務められておられる石橋委員をご提案させていただきます。</p> <p>事務局案に対しましてご意見、ご異議がございましたら、お伺いいたします。</p> <p>【異議なし】</p>
事務局 (中島室長)	<p>ご異議がないようですので、会長は横山委員に、副会長は石橋委員にお願いすることを決定しましたので、よろしくお願いたします。</p> <p>会長、副会長は正面の席へ移動をお願いします。</p>

<p>事務局 (中島室長)</p>	<p>改めて、会長、副会長からひと言ずつご挨拶をお願いいたします。</p> <p>【会長、副会長席移動後、挨拶】</p> <p>議事の途中ではございますが、黒川教育長は他の公務のため、ここで退席させていただきます。</p> <p>【教育長退席】</p>
<p>事務局 (中島室長)</p>	<p>議事に入ります前に、先日送付いたしました配付資料のご確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第が表紙になっている会議資料 1部</li> <li>・別冊資料として <ul style="list-style-type: none"> <li>①カラー印刷の 第2期江別市学校教育基本計画</li> <li>②子どもが輝くえべつの小中学校</li> <li>③令和4年度全国学力・学習状況調査の調査結果について</li> <li>④令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果</li> <li>⑤第7次江別市総合計画「まちづくり政策」の案</li> <li>⑥次期教育振興基本計画について(答申)【概要】</li> <li>⑦北海道教育推進計画</li> </ul> </li> </ul> <p>不足等が無ければ、以降の議事につきましては、要綱に従い、会長に進行をお願いいたします。</p>
<p>横山会長</p>	<p>次第に従い、進めさせていただきます。</p> <p>7議題(1)会議の運営について 事務局より説明願います。</p>
<p>事務局 (川口課長)</p>	<p>はい。資料2ページをお開きください。</p> <p>策定懇話会設置要綱について、ご説明いたします。</p> <p>本要綱は、令和4年12月1日教育長決裁により制定しており、第1条において、懇話会の設置について定めております。</p> <p>第2条では懇話会の所掌事項を定めており、学校教育基本計画の策定にあたり、施策・事業等の具体的な取組についての意見交換等を行うこととされております。第3条で懇話会の構成について、第4条で任期について、第5条で会長及び副会長について、第6条で庶務について、それぞれ定めております。</p> <p>次に、資料3ページをご覧ください。</p>

<p>横山会長</p>	<p>会議の運営について、ご説明いたします。          会議は公開とし、また、会議開催前の事前公表を市のホームページに掲載する形で行います。傍聴者の定員は、会議の都度事務局において定め、傍聴者に対しては、閲覧により会議資料を提供します。          会議録は、要点記録の形式で作成し、会長の確認を得た後、ホームページに掲載し公表します。また、委員名簿については、市のホームページにおいて公表いたします。          下段には、懇話会の開催予定を記載しておりますので、後程ご確認ください。</p> <p>本件についての説明は、以上です。</p> <p>ただいまの事務局からの説明に、質問や確認したいことなどがあれば、ご発言願います。</p> <p>【なし】</p>
<p>横山会長</p>	<p>会議の運営については、事務局からの説明のとおり承認することによってよろしいでしょうか。</p> <p>【異議なし】</p>
<p>横山会長</p>	<p>会議の運営については、事務局からの説明のとおり承認いたしました。次に、(2)江別市学校教育基本計画の策定及びスケジュールについて事務局より説明願います。</p>
<p>事務局 (川口課長)</p>	<p>はい。資料の4ページをご覧ください。          第3期学校教育基本計画の策定について、ご説明いたします。なお、この資料は令和4年10月に江別市定例教育委員会会議に報告した資料です。</p> <p>まず、策定の趣旨についてですが、現行計画が、令和5年度をもって終了するため、その理念を継承しつつ、教育を取り巻く社会情勢の変化や将来的な課題を踏まえ、江別市教育委員会の所管する学校教育に関する基本的な計画として策定するものです。</p> <p>次に、計画の位置付けですが、国の「教育振興基本計画」や「北海道教育推進計画」を参酌し、現在策定作業中の「第7次江別市総合計画」が示す、「まちづくり政策」に沿って策定するものです。</p>

	<p>また、「江別市教育大綱」をはじめ、社会教育、スポーツ、読書活動に係る計画と整合性を図ることとしております。</p> <p>計画期間についてですが、現行の計画期間が、平成31年度から令和5年度までの5か年となっており、第3期の計画期間については、令和6年度から令和10年度までの5か年とするものです。</p> <p>策定方法についてですが、まず、(1)は本日開催しております、「江別市学校教育基本計画策定懇話会」において意見交換等を行います。そのほか、(2)にあります、市の関係部署の課長職を中心に構成する庁内会議において、策定に向けた検討を行うほか、江別市議会、定例教育委員会、校長会への報告を行ったうえで、パブリックコメントによる市民の意見を反映し、計画を策定いたします。</p> <p>資料5ページの策定スケジュールについては、記載のとおりです。 本件についての説明は、以上です。</p>
横山会長	<p>ただ今の事務局からの説明に、質問や確認したいことがあれば、ご発言願います。</p> <p>【なし】</p>
横山会長	<p>江別市学校教育基本計画の策定及びスケジュールについて、終わらせていただきます。</p> <p>次に、(3)江別市の学校教育の現状について、事務局より説明願います。</p>
事務局 (川口課長)	<p>はい。江別市の学校教育の現状については、大きく資料4点についてご説明いたします。説明が長くなりますので、1ずつ区切って、質問等をお受けしたいと思います。</p> <p>まず、別紙でお配りした「子どもが輝くえべつの小中学校」をご覧ください。これは、江別市教育委員会が行っている事業を見やすくまとめたもので、年度当初に各学校を通じて、各家庭に配布したものです。内容について、各所管課長から順にご説明いたします。</p> <p>まず、私から、学校教育課所管の事業についてご説明いたします。</p> <p>「子どもが輝くえべつの小中学校」1ページ上段の「令和5年4月から小中一貫教育がスタート！」をご覧ください。小中一貫教育につきまして</p>

は、3本柱で進めることとしており、系統的な指導、一貫した指導、それらの効果を高める相乗的・補完的な指導により、目指す子ども像の実現を目指します。具体的な取組につきましては、右の「各中学校区の主な取組」に記載のとおりです。

次に、2ページの「えべつの小中学生の学力と体力の現状」については、後程詳しくご説明いたします。

次に、下段にあります「遊びを中心とした運動プログラムで、体力向上！」をご覧ください。体力向上の取組として、北翔大学の協力を得て、小学校を対象に、運動プログラムの出前授業を行うほか、走り方教室を実施しています。

次に、3ページの「複数の教員が、手厚く学習をサポート！」をご覧ください。個々の児童生徒に応じた、きめ細かい学習支援を行うため、退職教員などの教員免許を持つ学習サポート教員を全小中学校に派遣し、複数の教員が指導するチーム・ティーチングのほか、放課後や夏休み・冬休みには補充的学習を行っています。

次に、中段の「外国人の先生から学ぶ、リアル英語！」をご覧ください。「外国語教育」では、外国語指導助手(ALT)を10名任用し、全ての小中学校に派遣しており、小学1年生からネイティブの英語に慣れ親しむことで、異文化を理解し尊重する態度や他者とのコミュニケーション能力を伸ばす教育に取り組んでいます。

次に、4ページの右下にあります「就学に必要な費用を援助」をご覧ください。就学援助制度は、経済的理由により、就学に必要な経費の負担が困難なご家庭に対し、学用品費等、経費の援助を行っております。

以上です。

事務局  
(浅木参事)

私から、学校教育課所管の事業のうち、教育情報化担当分についてご説明いたします。

「子どもが輝くえべつの小中学校」の1ページの下段、「ICT機器を活用した、わかりやすい授業！」をご覧ください。

はじめに、ICT環境の主な整備状況について、ご説明させていただきます。児童生徒用タブレット型パソコンにつきましては、令和2年度に中学校全学年を含む小中学校7学年分を、令和4年度に小学校2学年分を整備

し、児童生徒の一人一台端末の整備が完了しております。

タブレット型パソコンの効果的な活用として、授業では、ソフトの付箋機能や共同編集機能を活用して自分の意見を発表したり、出し合った意見をグループでまとめたり、観察や実験の様子をカメラ機能で撮影し、写真を交えてまとめのレポートを作成するなど、日常的に活用することで、児童生徒の教科の理解を深めるとともに、情報活用能力の育成を進めています。

また、令和3年6月からの不登校児童生徒の学習支援への活用を皮切りに、令和4年6月からは臨時休校時等の緊急時における活用、令和4年10月からは市内全小中学校で平常時における家庭学習への活用と、学校外での活用にも取り組んでいるところです。

多機能大型ディスプレイにつきましては、全普通学級等へ配置し、一斉学習をはじめ、クラスでの児童生徒の考えや意見の共有、学習成果の発表などに活用しております。この他、主要5教科の指導者用デジタル教科書や、これらを活用する上で基盤となる、校内無線LANを含む高速大容量通信環境を全小中学校に整備しております。

江別市においては、文部科学省が示す「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針について」で学習活動において、優先的に整備すべきとされているICT機器等について、概ね整備が完了しております。

令和5年度は、学習系ネットワーク回線の増強による高速化や仮想化技術等を活用した教員が使用する校務用及び指導用端末の統合など、子どもたちの学習環境と教員の働く環境の更なる向上に取り組んで参ります。

次に、記載にはございませんが、学校でのICT活用支援について、ご説明させていただきます。

令和2年度のICT機器の環境整備に併せて、導入した機器の活用促進のため、市内小中学校を巡回し校内研修等を行うGIGAスクールサポーターを配置するとともに、令和3年度からは、ICT機器の利活用や障害等の問い合わせに日常的に対応するヘルプデスクを設置して、継続的に教員の支援を行っているところです。

また、令和4年3月には、「江別市教育情報化ガイドライン」を策定し、市内小中学校における子どもたちの情報活用能力を育成するための共通の指針として、中学校卒業時の「目指すべき姿」を定めるとともに、発達段階に応じた必要なスキル等を示し、系統的な情報活用能力の育成に向けた取り組みを進めております。

<p>事務局 (清水課長)</p>	<p>以上です。</p> <p>私から、教育支援課所管の事業についてご説明いたします。</p> <p>「子どもが輝くえべつの小中学校」の4ページの「障がいに配慮した学校生活をサポート！」をご覧ください。</p> <p>特別支援教育は、障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものであります。</p> <p>江別市では、地域の学校に通いたい、通わせたいという本人・保護者からの意向を尊重し、特認校を除く小中学校24校に特別支援学級を設置しております。また、特別支援学級と通常学級には必要に応じて特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の校内の移動や食事、排泄などの生活上の介助や学習支援を行っております。</p> <p>なお、江別市では、言語障がいや発達障がいを抱えた児童を対象に通級指導教室を開設しており、言語障がいの通級指導教室(ことばの教室)を中央小学校と大麻東小学校に、発達障がいの通級指導教室(まなびの教室)を江別第一小学校、江別第二小学校、大麻東小学校に設置し、障がいを起因とする困り感や課題の改善・克服に向けた指導を行っております。</p> <p>また、医療的ケア児の支援として、小学校に看護師を配置するとともに、必要な施設整備を行い、医療的ケアが必要な児童に対する支援を行っております。</p> <p>次に、「スクールソーシャルワーカー(SSW)による支援」であります。教育委員会に3名のSSWを配置し、いじめ・不登校・家庭環境などの課題を抱える児童生徒やその保護者に対し、SSWが福祉の専門的な知識や経験を活用して支援を行っております。</p> <p>その他には、不登校の児童生徒の社会的自立を図ることを目的に、適応指導教室「すぽっとケア」を開設し、週5日、青年センターと情報図書館を会場に、コミュニケーション支援や学習支援、体験活動、教育相談を実施しているほか、心の教室相談員やスクールカウンセラーを学校へ派遣し、児童生徒の心のケアを行っております。</p> <p>また、いじめ防止対策として、江別市いじめ防止対策審議会の設置や、児童生徒に対するいじめアンケートの実施、児童生徒が悩みを相談できる「心のダイレクトメール」の実施など、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めるとともに、問題行動対策として、街頭巡回指導や関係機関と</p>
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>事務局 (中山係長)</p>	<p>の連絡会議を行うなど、青少年の健全育成に努めております。</p> <p>以上です。</p> <p>私から、総務課所管の事業等についてご説明いたします。</p> <p>「子どもが輝くえべつの小中学校」の1ページ目の中段、「学校運営をみんなで支えるコミュニティ・スクール！」をご覧ください。</p> <p>えべつ型コミュニティ・スクール事業であります。平成29年4月から江別市立小中学校で導入しているもので、保護者や地域住民等で構成する学校運営委員会を全ての学校に設置し、子どもの教育や学校運営に関して話し合うなど、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていく学校づくりを推進しております。</p> <p>次に、4ページ目の下段左側、「安全・安心な学校施設！」をご覧ください。</p> <p>現在、市内には江別市立小学校が17校、同中学校が8校、合計25校があり、子どもたちが安全で充実した学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備や改修等を行っています。</p> <p>なお、令和5年度実施予定の主な工事は、記載のとおりです。</p> <p>続きまして、給食センター所管の事業等についてご説明いたします。</p> <p>「子どもが輝くえべつの小中学校」の3ページ目の下段、「安全でおいしい給食！」をご覧ください。</p> <p>給食センターでは、子どもたちが安心して食べることができるよう、安全でおいしい給食を提供しております。</p> <p>給食には、江別産のお米や野菜を積極的に使用しており、お米は全量江別産ななつぼしを使用しています。また、地場産野菜の使用割合は令和4年度で43.5%となっております。</p> <p>現在、献立のバリエーションは500種類を超え、季節に合ったメニューや行事食を提供しており、小学6年生を対象に、子どもたちが食べたいメニューを選択する「リザーブ給食」を実施しております。</p> <p>さらに、子どもたちが親と一緒に調理することなどを通じて、食の大切さを学び、感謝の気持ちを育む機会として、年に1度、全小中学校で「食育弁当の日」を実施しております。</p> <p>また、学校における食育を推進するため、給食の献立を生きた教材にして、5名の栄養教諭が、子どもたちに「食の指導」を行っております。</p> <p>その他、記載されている事業等は、社会教育総合計画等に位置付けら</p>
-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>れるものであるため、説明を省略いたします。</p> <p>この資料についての説明は以上です。質疑応答等をお願いいたします。また、江別市の教育政策の現状について、感想でも結構ですので、意見交換をお願いいたします。</p>
横山会長	<p>ただいまの事務局からの説明に、質問や確認したいことなどがあれば、ご発言願います。特に、学校の先生ではない委員の方は、詳しく聞きたいことがあると思うので、遠慮なく質問していただければと思います。</p>
樋口委員	<p>今説明があった「食育弁当の日」について。家庭で親と子どもと一緒に弁当を作ることについて、取組の趣旨はきちんと示されていると思うが、中には、そういう環境に無いお子さんもいるのではないかと予想されます。そのような場合、弁当を作ることが出来ず、みんなが弁当を持ってきているのに、持ってこられない子どもに対してフォローが必要だと思うが、どのように対応しているのか教えていただきたい。</p>
事務局 (中山係長)	<p>「食育弁当の日」については、取組の目的などを給食センターや学校から、事前にお手紙などで、各家庭にお知らせをしたうえで実施しています。様々な家庭環境がある中で、実際に取り組んでいただく内容として、一緒にお弁当を作ることだけではなく、例えば、一緒にメニューを考えたことや、一緒に買い物に行く、1品だけでも一緒に作ってみるというような様々なやり方をお知らせしたうえで、家庭内で、少しでも食べ物大切さなどについて話す機会としてもらいたいと考えています。</p>
樋口委員	<p>それでもやはりお弁当を用意しなければいけないとなると、家に帰っても、子ども一人ぼっちの家もある。弁当を持ってこられない家庭に対するフォローはどのようにしているのか。</p>
荒瀬委員	<p>本校ではいまのところ、そのような家庭からの相談はないが、もしそのような状況になった場合は、教員の方で何かしら用意するなど、みんなと一緒に弁当を食べられるよう、様々な方法で対応すると思う。</p>
横山会長	<p>我が家でも毎年話題になっていた取組で、事務局から説明のあったような趣旨が、あまり家庭まで届いていないかもしれない。いろんな選択肢があって、これを機会に考えてほしいという趣旨が、もっと前面に出てこない、家庭にとって負担になってしまう。決して、趣旨として悪いものではないが、目的が伝わるようにしていただけると良いと思う。</p>

事務局 (中島室長)	我が家でも、店で買ったものを詰め合わせて持たせたこともあった。趣旨が形骸化している部分はあると思うので、趣旨が家庭に伝わるように、計画にも反映していきたいと思います。
横山会長	私から何点か質問させていただきたい。まず、「複数教員による学習支援」として学習サポート教員を全校に配置していることについて、学校の規模にもよると思うが、だいたいどれくらいの人数が学校に派遣されているのでしょうか。
事務局 (中山係長)	学習サポート教員は、主に教員を退職された、教員免許をお持ちの方に各学校で支援を行っていただいております。今年度の人数は手元に資料がないが、複数校を兼務している方が多く、週に1・2回程度、年間を通して、カリキュラムにあわせて支援に入っております。
横山会長	次に、「ICTを活用した授業」についてお聞きしたい。江別市では全ての子どもにタブレットが配備されており、サポート体制も整っていると感じています。いろいろなところで話題になっているのは、メンテナンスについて。故障する例がもう出はじめているのではないかと思います。それに対応するための予算について、導入時は国からの補助がありました。今後は市で対応していくことになるのでしょうか。
事務局 (浅木参事)	ICT機器の故障への対応についてですが、通常の使用方法で不具合が出ることもまれにはありますが、学習活動の中で教室以外でも使用しているため、落として画面が割れてしまうような例が度々あります。導入に当たっては、保険に加入しており、故意や重大な過失がなければ保険で対応しています。故障したとき用に、代替機も一定程度は準備しておりますが、江別市の児童生徒数は増加しているため、足りなくなるのではないかと懸念はあります。
横山会長	次に、「スクールソーシャルワーカーによる支援」について、スクールソーシャルワーカーは、正規採用なのか、外部に委託しているのでしょうか。
事務局 (清水課長)	江別市で任用しているスクールソーシャルワーカー3名は、非常勤の会計年度任用職員です。社会福祉の資格を持った3名が、市内25校を分担して、学校の支援を行っています。
横山会長	今、国では、スクールソーシャルワーカーであったり、スクールカウンセラーをもっと手厚く学校に配置するように方針を示していますが、江別市として、将来的に正規採用にするような予定はあるのでしょうか。

事務局 (清水課長)	現状としては、当面、今の非常勤による3名体制を維持していくことと していますが、それぞれ担当するケースは増えてきており、会計年度任用 職員だと勤務時間の制約もあるため、配置人数については、今後検討す る必要はあると考えております。
横山会長	ありがとうございます。先行きが不透明なことばかり質問してしまいま したが、そのようなことを今後考えていく必要があると思い、質問させて いただきました。 他の委員から、何か質問等はございませんでしょうか。
橋本委員	「外国人の先生から学ぶリアル英語」について、ALT との会話によるコ ミュニケーションだけではなく、子どもたちに配布する資料に、例えば、給 食時間をランチタイムと表記するように、英語の表記を載せていく予定は あるのでしょうか。
事務局 (中山係長)	ALTについては、各学校の英語の授業や、外国語活動の中でネイティブ な発音であったり、外国の文化について、直接子どもたちにふれあい、ア クティビティなどを通して、楽しみながら英語のコミュニケーションの力を 育成することを目的として派遣しています。 ALTがプリントを作って、子どもや家庭にお知らせすることはあるが、 まずは授業の中で取り組んでいるので、今のところ学校からのプリントに 英語を入れているという例は聞いていません。
橋本委員	道路の看板なども多言語で表現されているし、自分の孫が通っている 札幌の小学校では、そのような資料も目にしたので、江別市の学校ではど うかなと思って質問させていただきました。
事務局 (中山係長)	質問の趣旨と異なりますが、江別市でも外国籍の児童生徒が増えてき ています。そういった子どもへの支援の側面も含めて、おっしゃっていた いただいたような、プリントなどに英語表記を入れていくことについて今後、 検討は必要だと思います。
赤川委員	ALT による授業は、年間何時間くらい行っているのでしょうか。
事務局 (中山係長)	年間の授業時数については手元に資料はありませんが、10名のALTで 25校を巡回しており、担任とALTと一緒に授業を行うことと、担任のみ で授業を行う場合があります。

赤川委員	<p>中学校の英語の先生からの話を聞くと、ALTが来ると子どもたちはすごく喜んで楽しい授業になるが、その反面、イベント的なものになってしまうという。英語のテストが近いときに、事前に打ち合わせをしても、ALTが授業の内容に沿わないゲームをしてしまうと、先生の本音としては困る。子どもたちは楽しんでいるが、ALTとは会話によるコミュニケーション中心になるので、身に付けさせたい力やテストとの関連になると難しいという声も聞いている。通常の英語の授業とつながるかという、なかなかそうはならないジレンマがある。連携が難しいので、ALTが参加する授業では、ALTに全部任せてしまい、ALTの居ない授業の時に内容を引き戻している。江別市に限ったことではないと思うが、連携がもっと図られて、人数も増えるとすごくいいと思う。そんな感想を持っていました。</p>
事務局 (中島室長)	<p>先生とALTの意思疎通のための打ち合わせを充実させることがポイントになると思うが、私が中学校の授業を見学した中では、英語の先生が授業を進行しながら、ポイントでALTが補助していた。ALTとの連携がうまくいっていない例が江別市でもあるのであれば、外国語指導連絡協議会の中で改善を図ってまいりたいと思います。</p>
横山会長	<p>それでは、事務局からの説明を続けてください。</p>
事務局 (川口課長)	<p>次に、現計画の概要及び推進状況について、ご説明いたします。</p> <p>まず、現計画の概要についてご説明します。別冊でお配りした、第2期学校教育基本計画の17ページをご覧ください。計画体系図です。</p> <p>第1期の学校教育基本計画策定時に、基本理念を「心豊かに学び ともに未来のふるさとを拓く 子どもの育成」と定め、目指す子ども像は、「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて 行動する子ども」としました。</p> <p>この、基本理念と目指す子ども像は現行の第2期計画にも継承されており、江別市の子どもたちは学力・体力ともに高く、落ち着いた教育環境で心豊かに学び、学業や他者との関りから夢を見つけ、夢の実現に向けて健やかに過ごしています。そのため、第3期においても、基本理念及び目指す子ども像を継承し、これまでの取組を踏まえ、江別市の学校教育を充実させていきたいと考えております。</p> <p>また、基本目標として、「確かな学力を育成する教育の推進」、「豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進」、「良好な教育環境の整備」、「地域とともにある学校づくりの推進」の4つを基本目標として、この目標を推進するための9つの基本方向、そして、24の基本施策を定めています。</p>

次に42ページをご覧ください。こちらに記載されているとおり、計画の実効性を確保し、より効果的に施策を推進するためにPDCAサイクルの考え方に基づいて、点検・評価を行い、その結果については公表し、着実に計画を進めることとしております。

次に、現計画の推進状況について、ご説明いたします。

次第に添付されている資料にお戻りいただき、6ページをお開きください。「江別市学校教育基本計画(第2期)推進状況報告書(点検・評価結果)」です。

現計画の進捗状況等を点検・評価した結果になりますが、この資料は令和5年1月に定例教育委員会会議に報告した資料で、計画期間の5か年のうち、令和3年度までの数値の推移と、目標値との比較等を基に、5段階の点検・評価をしております。

なお、一部の成果指標において、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となり、数値が無いため、「未実施」と表示しています。

評価結果についてご説明いたします。

はじめに、「基本目標1:確かな学力を育成する教育の推進」についてですが、成果指標3項目中、「達成」の5が2つ、「未達成」の2が1つとなっております。

このうち、成果指標1-②将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合は、目標未達成となっておりますが、新型コロナウイルスにより、職場体験が中止となり、体験活動の機会が減るなど、キャリア教育に影響が出たことによるものと考えられます。

7ページをご覧ください。次に、「基本目標2:豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進」ですが、成果指標3項目中、「達成」の5が1つ、「未達成」が2つとなっております。

このうち、成果指標2-②運動が好きな児童生徒の割合は、目標未達成となっておりますが、新型コロナウイルスの影響により、運動機会が減ったことによるものと考えられます。

また、成果指標2-③朝食を食べて学校に通う児童生徒の割合も、目標未達成となっておりますが、資料の記載は無いものの、親世代の生活習慣の変化等、児童生徒に限らない課題であると考えております。

次に、「基本目標3:良好な教育環境の整備」であります。7ページ下段と、8ページ上段に記載の成果指標2項目について、どちらも「達成」の5となっております。

次に、「基本目標4:家庭や地域に開かれた学校づくりの推進」であります。成果指標の4-①「学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合」は、目標未達成となっております。新型コロナウイルスの影響により、地域の行事等、一部の活動が制限を受けたことによるものと考えられます。

全体では、評価5が5項目、評価2が4項目となっております。

最後に、資料下段「取組内容、成果指標の動向・時期に向けての課題」についてであります。学習指導要領では、社会に開かれた教育課程の実現に向け、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業を進めることを重視しております。また、新型コロナウイルスの影響等も踏まえ、ICTを効果的に活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、カリキュラム・マネジメントの取組を一層進めることが重要とされています。

このことから、次期計画においては、現計画の基本理念を継承しつつ、教育を取り巻く社会情勢の変化や将来的な課題を踏まえ、小中一貫教育の導入、特別支援教育の充実等、さらなる学校教育の充実が図られるよう検討を進める必要があると考えております。

現計画の概要及び推進状況の説明は以上です。質疑応答をお願いいたします。

横山会長

ただ今の事務局からの説明に、質問や確認したいことがあれば、ご発言願います。

橋本委員

現計画の推進状況について、学校での指導に関するものは5と高い評価だが、将来の夢や目標を持っている児童生徒や、運動が好きな児童生徒、朝食を食べている児童生徒の割合、学校・家庭・地域が連携しているかなど、家庭に関わるものは2と評価が低い。学校関係の指標は比較的高い評価結果だが、家庭と関係する指標の評価結果が低いのかなという印象を持ちました。

事務局  
(川口課長)

新型コロナウイルス感染症の影響により、いろいろと活動が制限されており、その中でも学校が様々な取組を進めてきたことで、指標は改善され

<p>横山会長</p>	<p>てきています。朝食を食べる割合は、各家庭の状況もあるので、学校だけでなんとかできるものではなく、地域とのかかわりについても地域行事が、中止や縮小になっていたのも、今後、コロナ禍前の状況に戻っていく中で、徐々に改善されていくと考えています。</p> <p>現行の計画は、令和5年度までの計画なので、今年度の結果がどうなるかを見ていかなければいけない。コロナ禍前の状態にまで改善しないようであれば、違うところに原因があるのか、検討は必要になるかもしれない。</p> <p>それでは、事務局からの説明を続けてください。</p>
<p>事務局 (中山係長)</p>	<p>次に、令和4年度「全国学力・学習状況調査」の調査結果についてご説明します。別冊でお配りした資料をご覧ください。</p> <p>それでは資料の1ページをご覧ください。</p> <p>I 調査の概要について、毎年小学校6年生及び中学校3年生を対象として実施しており、令和4年度の全国学力・学習状況調査は、令和4年4月19日(火)に実施されました。</p> <p>なお、教科に関して、3年に1度の調査になりますが、理科の調査を実施しております。</p> <p>次に II 結果の概要です。まず、1 教科に関する結果の概要ですが、小学校・中学校ともに、全ての教科で平均正答率が全国・全道平均を上回っております。</p> <p>次に、2 質問紙調査に関する結果の概要です。「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う」割合は、小学校、中学校ともに全国平均を上回り、江別市の学校は大変落ち着いた状態にあると言えます。</p> <p>「ICT機器を活用した授業をほぼ毎日行った」割合は、小学校、中学校ともに全国平均を大きく上回り、ICTを活用した授業が積極的に行われています。</p> <p>「昨年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣の小中学校と成果や課題を共有した」割合は、小学校、中学校ともに全国平均を大きく上回り、令和5年度から全面実施された小中一貫教育に向けた取組が進んでいます。</p> <p>2ページをご覧ください。III 各教科の結果については、2ページから7ページにかけて記載しております。</p>

教科ごとに、正答数の分布グラフ、江別市・北海道・全国の平均正答数と平均正答率及び学習指導要領の領域別の設問数と平均正答率の表を記載しております。

江別市の特徴的な傾向をご説明いたします。3ページ上段の小学校算数の正答数分布グラフをご覧ください。正答数と割合に関して、江別市は棒グラフ、北海道及び全国を折れ線グラフで表したものです。中間層に届いていない、いわゆる伸びしろ層の割合が、全国に比べ低いことがグラフで確認できます。

このことは、教育委員会における学習サポート教員の派遣や特別支援教育支援員の配置といった人的支援を効果的に活用し、各学校において、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導・支援を行ってきたことによるものと考えております。また、他の教科においても同様の傾向が見られます。

次に、8ページをご覧ください。Ⅳ 質問紙調査の結果についてですが、1「児童・生徒質問紙」は、児童生徒が生活習慣や学習習慣等について回答した結果であり、「生活習慣」など7項目について、特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取組を四角で囲んだ部分に記載しております。

次に、10ページをご覧ください。下段部分の 2「学校質問紙」は、学校の教育活動等について学校が回答した結果であり、「学習規律」など7項目について、学力向上等の取組の中から特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取組等を四角で囲んだ部分に記載しています。

なお、13ページから23ページは、児童・生徒質問紙と学校質問紙の項目について、抜粋したものになりますがグラフを掲載しており、全国平均よりも+5ポイント以上を太字、全国平均よりも-5ポイント以下を網掛けとしておりますので、ご参照ください。

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の調査結果については、以上です。

次に、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてご説明いたします。別冊でお配りした資料をご覧ください。

資料の1ページをご覧ください。調査の概要について、毎年小学校5年生と中学校2年生を対象として実施しており、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、スポーツ庁の実施要領に基づき、4月から7月

にかけて、各学校において実施されました。

次に、3ページをご覧ください。体格と肥満度に関する調査の結果です。一番上の四角で囲んだ部分は、調査結果の概要を、中断の表は男子のデータを、下段の表は、女子のデータを記載しております。

データについては、今年度の江別市の数値と、全国平均値 50.0 に対する相対的な位置を示すT得点を掲載したほか、全国・北海道の数値や、江別市の令和3年度の数値を参考に併記しております。

小学校では、身長は、男子・女子ともに全国平均とほぼ同程度であり、体重は、男子が全国平均を上回り、女子は全国平均とほぼ同程度であります。

肥満痩身傾向については、全国平均との比較で、男子は肥満傾向が7.3ポイント上回り、女子は全国平均とほぼ同程度となっています。

次に、4ページをご覧ください。中学校では、身長は、男子は全国平均をやや上回り、女子は全国平均とほぼ同程度であり、体重は、男子が全国平均をやや上回り、女子は全国平均とほぼ同程度であります。

肥満痩身傾向については、全国平均との比較で、男子は肥満傾向は全国平均を上回り、痩身傾向はほぼ同程度であり、女子は肥満傾向は全国平均を下回り、痩身傾向が上回っています。

次に実技検査の結果について、5ページから8ページにかけて記載しております。

5ページをご覧ください。一番上の四角で囲んだ部分は、調査結果の概要を、その下の表は、各種目の成績とその点数を合計した体力合計点などのデータを、その下の縦の棒グラフは、各種目のT得点を、その下の横の棒グラフは、良いほうから順にAからEまで5段階で評定した体力の総合評価を表しています。

中段にあります、「実技調査T得点(男子)」のグラフをご覧ください。

50の横棒のラインが全国平均、左側の棒グラフが北海道平均、右側の棒グラフが江別市平均となっています。

全国平均と比較した江別市の児童生徒の特徴としましては、小学校男子では、握力は「上回り」、50m走は「下回って」おります。

体力合計点のT得点は50.1で、全国平均と「ほぼ同程度」となりました。

	<p>次に6ページをご覧ください。小学校女子では、握力とソフトボール投げで「上回り」、50m走は「下回って」おります。</p> <p>体力合計点のT得点は50.4で、全国平均と「ほぼ同程度」となりました。</p> <p>次に7ページをご覧ください。中学校男子では、握力、ハンドボール投げが「上回り」、持久走は「下回って」おります。</p> <p>体力合計点のT得点は50.3で、全国平均と「ほぼ同程度」となりました。</p> <p>次に8ページをご覧ください。中学校女子では、握力、持久走が「上回り」、50m走は「下回って」おります。</p> <p>体力合計点のT得点は50.0で、全国平均と「同程度」となりました。</p> <p>次に、9ページから14ページは、児童生徒質問紙調査の結果です。</p> <p>9ページから11ページには小学校、12ページから14ページには中学校に対する質問紙調査の結果を記載しております。左側に男子のグラフ、右側に女子のグラフを配置しております。</p> <p>次に、15ページから17ページは、学校質問紙調査の結果です。</p> <p>左側に小学校のグラフ、右側に中学校のグラフを配置しております。</p> <p>令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果については、以上です。</p> <p>以上で、(3)江別市の学校教育の現状についての説明を終了します。</p>
横山会長	<p>ただいまの事務局からの説明に、質問や確認したいことなどがあれば、ご発言願います。</p> <p>【なし】</p>
横山会長	<p>江別市の学校教育の現状について、終わらせていただきます。</p> <p>次に、(4)第3期江別市学校教育基本計画骨子(案)について、事務局より説明願います。</p>
事務局 (中山係長)	<p>はい。まず、別冊でお配りしている資料の「第7次江別市総合計画「まちづくり政策」の案について」をご覧ください。</p> <p>これは、江別市の最上位計画である総合計画について、令和6年度から新たな「第7次江別市総合計画」の策定作業が現在進められており、まち</p>

づくり政策01から09までの項目について、行政審議会専門部会による審議後の資料となっています。本計画は、今年度中に策定されるものですが、まちづくり政策については、今後大きな変更の予定はありません。資料は、政策06子育て・教育を抜粋したものです。

中面をお開きいただき、基本目標は「子どもたちが元気に育ち、笑顔で学ぶ、未来あるまち」としています。右側15ページの(2)子どもの教育の充実において、①教育内容の充実から、次の16ページ⑤教育相談・支援の充実まで、5つの項目が位置付けられており、江別市学校教育基本計画は、この内容に沿って策定されるものとなっています。

次に、別冊「次期教育振興基本計画について(答申)【概要】」をご覧ください。これは、今年3月に、国の中央教育審議会から第4期の教育振興基本計画について、答申が出された内容の概要です。

国が策定する新たな教育基本計画であり、コンセプトとして「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられています。今後5年間の教育施策の目標と基本施策についても示されており、この理念等を踏まえて、第3期江別市学校教育基本計画に反映してまいりたいと考えております。

次に、別冊「北海道教育推進計画」をご覧ください。これは、北海道教育委員会が令和5年度から令和9年度における基本的な計画として、令和5年3月に策定したものです。

冊子の27ページをお開きください。2施策の体系図について、表に記載のとおり3つの施策の柱と22の施策項目が設定されています。

一部、高校教育や生涯学習・社会教育に関する項目を除き、全ての施策の内容を網羅した形で、第3期江別市学校教育基本計画に反映してまいりたいと考えております。

次第のついている資料にお戻りください。9ページ、A3判の資料をご覧ください。これは、現行の第2期学校教育基本計画と第3期計画(案)の体系図を比較したものです。

まず、上段の「基本理念」及び「目指す子ども像」については、第2期学校教育基本計画の理念を、引き続き継承していきたいと考えております。基本目標、基本方向、基本施策については、江別市の第7次総合計画と整合を図り、国の理念と道の施策を踏まえたものとなるよう、骨子案を作成しました。

第2期からの変更点を赤字にしておりますので、順に説明します。

まず、基本目標1について、第2期では「確かな学力を育成する教育の推進」としていましたが、「確かな学力と新しい時代に必要となる資質・能

力の育成」に修正したいと考えております。確かな学力の定着に加えて、現行の学習指導要領では、子どもたち一人一人に、変化の激しい社会を生きるために必要な力である「生きる力」を育成するためには、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力をバランスよく育むことが重要とされています。

次に、基本目標1の基本方向2「社会に適応し、生きる力を育む教育の推進」について、第2期では5番目に位置付けられていた「キャリア教育の充実」を1項目目に変更したいと考えております。キャリア教育は生き方そのものについての教育であり、学校の教育活動全体でキャリア教育の充実を図ってまいります。

次に、2「情報教育の推進」を「情報活用能力の育成」とし、Society5.0と言われる新たな時代に、急速に情報化が進展し、多様化した社会において、情報手段を主体的に選択し、活用していくために必要な情報活用能力を義務教育9年間の見通しをもって育成することが必要であると考えます。

次に、3「特別支援教育の推進」の2「関係機関相互の連携・協力による支援体制の整備」を「支援の充実」と修正し、これまで進めてきた体制整備から1歩進めて、支援の充実を図っていきたいと考えております。

基本目標2「豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進」について、3として位置づけられていた「体験活動の充実」は、先ほどご説明した第7次総合計画において、生涯学習・文化・スポーツの施策に移管されたことから、学校教育基本計画からも削除いたします。

次に、5「いじめや不登校など問題行動への対応の充実」としてきたものを、問題行動ではなく積極的認知や支援が必要なものであるため、4「いじめの防止の取組の充実」と5「不登校児童生徒への支援の充実」の2つに分けて記載し、取組の充実を進めていきたいと考えております。

次に、基本目標3「良好な教育環境の整備」の基本方向7「学習環境の充実」の基本施策2に、新たに「学びの保障」を追加し、感染症や災害発生時等における教育活動の継続に必要な体制の整備や、非常時におけるICTを活用した学びの支援について取組を進めてまいりたいと考えております。

次に、基本目標4「地域とともにある学校づくりの推進」の基本方向8「地域とともにある学校づくりの推進」の基本施策2「学校段階間の連携の推進」について、「学校段階間の連携・接続の推進」とし、令和5年度から導入した小中一貫教育や、幼児教育施設と小学校の連携の推進について取組を進めていきたいと考えております。

最後に、一番下の欄外米印に記載のとおり、SDGsについては、江別市のまちづくり政策及び北海道の教育推進計画において、それぞれの取組に関連する主な目標が位置づけられており、第3期学校教育基本計画に

	<p>おいても、全ての施策に関連する目標を位置付けたいと考えております。</p> <p>なお、基本方向1～9の原稿の原案については、江別市小中学校校長会へ原稿の執筆依頼をしており、各校長先生が執筆した原稿をもとに、事務局と庁内会議において素案の取りまとめを行います。6月に予定している、第2回目の策定懇話会において、素案のたたき台をお示しし、意見交換を行っていただく予定です。</p> <p>また、資料が出来上がりましたら事前にお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本件についての説明は以上です。</p> <p>今回、お示した骨子(案)に基づいて、これから案を作成していくので、ご意見やご感想をいただければ大変ありがたく思います。</p>
横山会長	<p>非常に膨大な資料ではありますが、事務局から最後に説明があったとおり、今後、この懇話会で話し合っていくのは、出来上がってきた案に対してということになります。今回は、案を作るベースとなる、参考資料についてご説明をしていただきました。今の短時間で中身を理解するのは難しいと思いますが、今ここで先に伝えておかなければいけないと思うことがあれば、ぜひおっしゃっていただきたいと思います。</p> <p>【なし】</p> <p>横山会長</p> <p>次回以降の懇話会での話し合いが重要になってくるので、是非、この資料をもう一度見て、理解しておくことが大切だと思います。</p> <p>項目の追加削除、並び替えや表現の修正などもありますので、次回以降に意見交換する中でも、変更する余地はありますので、修正や変更の理由がわからないようなことがあれば、次回以降、遠慮なく発言していただきたいと思います。</p> <p>それでは、第3期江別市学校教育基本計画骨子(案)について、終わらせていただきます。</p> <p>最後に、8その他 であります。委員の皆様からご発言ございますか。</p> <p>【なし】</p> <p>横山会長</p> <p>事務局からございますか。</p>

<p>事務局 (中島室長)</p>	<p>今回は、事務局から、資料に基づき説明する内容が多かったので、何か不明な点等やご意見があれば次回以降で結構なので、事務局の方に質問をしていただければと思います。</p> <p>それでは、次回開催日程について、ご連絡いたします。</p> <p>あらかじめ委員の皆様へ日程調整を行わせていただきました結果、次回・第2回目は6月28日(水)、第3回目は8月1日(火)に開催させていただきますと思います。時間は15時開始、会場は本日と同じ、江別市教育委員会です。</p> <p>ご都合により出席できない委員の方へは、事前にご意見を記載していただく様式を送付しますので、書面でのご参加をお願いいたします。</p> <p>正式な通知文については後日お送りさせていただきますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。</p>
<p>横山会長</p>	<p>本日の懇話会では、委員の皆様から学校教育の現状等について、様々な意見を出していただきありがとうございました。次回以降も、江別市の子どもたちのために活発な議論ができるよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上で第1回策定懇話会を閉会いたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>